

これからの

学校はなにをどのように学ぶ場所だろう？

- 先生が教える授業から、子どもが学び取る授業へ -

勉強の仕方？

友達と一緒に考えること？

調べ方？

自分が得意な
学び方を知ること？

生まれた疑問を
解決すること？

自分は
何に興味があるんだろう？



“探究的な学び”
はじまっています

時代とともに学び方や、学校の役割も変化する必要があります。今、世田谷区が大事にしていることは2つ。一人一人が「課題に向き合い判断・行動できるようになること」そして「自分が思い描く未来を実現できるようになること」。探究的な学びとは「探究のプロセス」と「共感・協働」をキーワードに、教育の新しいあり方を目指す取り組みです。

探究的な学びのサイクル

じぶんで考えて
これを知りたいと
納得できる
問いをみつける



問いを見いだす

01

解決
方法を考える

すでに学んだこと
知っていることから
解決への見通しを立てる



02

協働して学ぶ

それぞれが個性
や能力を発揮し
やすい方法で、
調べ、考え、結
果を共有する



03

学んだことを振り返り
新たな問いを見いだす



04

振り返り、次に繋げる

探究的な学びを
実践する授業は
こんな様子!

- ・子どもたち自身が立てた問いの答えをみんなで探す
- ・先生は子どもたちの思考を促す存在
- ・自分のタブレットで調べてその場でどんどん共有
- ・自分のタイミングで意見を発信
- ・みんなの考えをつないで学びを進める
- ・わからないも失敗も大切な学び
- ・困っている子がいたら子どもたち同士でサポート

探究的な学びを実践する授業

用賀中学校 | 理科の授業

四季はなぜ変化するんだろう？

小島智子先生



みんなで課題設定をしたことで目標が明確になり、考察までスムーズに。



探究的な学びのサイクル (授業のながれ)

- 日本の四季を彩る花や空などの写真を見比べて、「なぜ四季が変化するのだろうか」と疑問がわいてきた。一年中暑い場所や寒い場所と何が違うのだろうか？
- 四季によって何が変化しているのか？これまで学習してきたことをもとに話し合い、太陽高度が低い朝よりも高度が高い昼の方が気温が上がることから、「太陽の南中高度の変化によって気温も変化するのではないかと仮説を立てた。
- 南中高度の高低で気温の変化を比較することにしたが、今は冬。夏の南中高度が高いことは経験から知っているがそれを再現することができない。検討の結果、気温を測定する器具の角度を変えて高度の変化をつけることに。班ごとに気温の変化を調べ、結果を共有。予想以上に温度変化がはっきりしていて感動！
- 仮説通り、南中高度が高いと気温も高くなることが確かめられた。でも、太陽高度が高いとなぜ気温が上がるのだろうか？南中高度はなぜ変わるの？新たな疑問が…！

生徒たちの様子

探究的な学びにより、理科が苦手な生徒でも課題に興味をもち、主体的に活動することが増えました。振り返りでは新たな疑問も次々に生まれ、自力で疑問を解決していく様子も見られました。

京西小学校 | 体育の授業

全員でTボールを楽しむにはどうしたらいいだろう？

猪又菜都子先生



探究的な学びのサイクル (授業のながれ)

- Tボールの試合を通してできたこと・できなかったことなどを基に、全員でTボールの知識や技能を高めるにはどんな工夫が必要か、どのようにしたら良いかを全体で共有する。
- 全体で確認した課題から、どのように解決するのかを考え、練習計画を立てる。
- 試合の作戦を考える中で、相手の守備を見て打ち方を変えたり、アウトを取りやすくするために守備位置を工夫することなどを共有し、次の試合に生かす。
- 本時の課題に対して自分が何をしたのかを振り返り、気付いたことや有効だった手立てを記載して、次の学習に生かせるようにする。

生徒たちの様子

試合の勝ち負けじゃなくて、みんなでTボールの力を高められたらいいよね！全員で楽しめたらいいなー！全員が活躍するために、友達にアドバイスできました！

三宿中学校 | 国語の授業

「理想的な社会」ってどんなだろう？

栃木昌晃先生



生徒自身が探究的に学ぶことの面白さに気づくことで、一生使える「本当の学力」が身につくと思っています！



探究的な学びのサイクル (授業のながれ)

- 「理想的な次の社会」について society5.0 についての動画や教科書本文を読み、現時点での自分の考えや疑問をもつ。
- 文章を深く理解するために、小学校や中学校での授業を振り返り、学習してきたことをまとめつつ、今回の課題解決に有効な方法について予測し、授業全体の見通しをもつ。
- 文章をより深く理解するための効果的な問いを自分達で立て、互いの考えを共有することで、プロセス1での自分の考えを更新していく。
- 最終的な自分自身の考えに至るまでの過程を振り返りつつ、効果的だと自分自身が感じた学習活動についてまとめ、次の学習につなげられるようにする。

生徒たちの様子

授業を通して、生徒達は自分自身の言葉で考えをまとめようと努力することができました。また、自分の言葉で表現する大切さを自覚できたことで、相手の言葉(考え)も尊重する姿を見せてくれました！

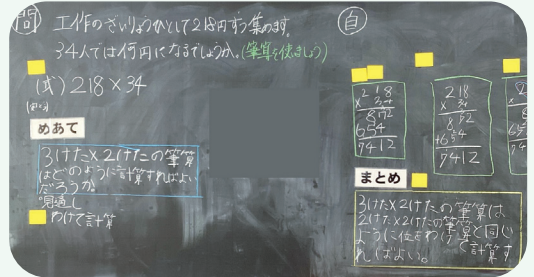
代沢小学校 | 算数の授業

3桁×2桁はどうやって計算するんだろう？

横田富信先生



教師は考えを深めるべき場面や、間違えそうな時には、間違えやすいところを指摘することもあります。



探究的な学びのサイクル (授業のながれ)

- 問題文から立式し、これまで学習してきたことの違いから、「3けた×2けたの筆算はどのように計算すればよいだろうか」と疑問をもつ。
- 「2けた×2けたの筆算」では「位ごとに計算すればよい」ということを学んでいたことから、同じような方法を使えるのではないかと、試してみる。
- 席を立ち自由に意見交換をしたり、悩んでいる子に対してヒントを伝えサポートする。その後、どのように解決したのかを黒板に書きながら学級全体で意見交換を進め、「3けた×2けたの筆算では、2けた×2けたの筆算と同じように位を分けて計算すればよい」とまとまった。
- 振り返りでは「今日、分かったことは数が3ケタ×2ケタでも、きっとこれより大きくても筆算のやり方も同じだろうとおもった。つぎは3ケタ×3ケタもやってみよう」との声が。自ら今日の学習を次の学習につなげられるようになった。

生徒たちの様子

学級会のように子どもたちが学習を進めました。「課題を設定する」「解決方法を考える」「協働して学ぶ」「振り返り次につなげる」というせがや探究的な学びのサイクルを身に付け自分たちで学習を進められていました。

探究的な学びのサイクル

- じぶんで考えて、納得できる知りたい思える問いを設定する
- すでに学んだこと、知っていることから、解決への見通しを立てる
- それぞれが個性・能力を発揮しやすい学び方で、調べ考え、結果を共有する
- 見方や考え方、学んだことを振り返り新たな問いを見いだす→そして01へ